

管理職のリスク研修義務化

2013.1.30
朝刊

ボート事故 豊橋市、遺族に回答

2010年6月に浜名湖であつた豊橋市立章南中学校の野外活動中のボート転覆事故で、亡くなった西野花菜さん(当時12)の父、友章さんが29日、豊橋市長に再発防止策の取り組み状況を尋ねた質問状に、回答が寄せられたと発表した。

質問状は昨年12月に提出。今月28日、加藤正俊教育長が自宅に持参したという。回答によると、学校側は、教職員の管理職にはリスクマネジメント研修を義務づけた▽初任者研修に野外教育施設での現地宿泊実習も加えるなど研修を充実させた▽校外学習安全マニュアルは毎年検証し、改善

を図っている——などしている。

友章さんは「踏み込んだ記述になつている」と一定の評価をする一方、「形骸化を防ぐため、どんな研修をして、どれだけレベルが上がったのかをチェックすることが必要だ」と話した。

友章さんは「踏み込んだ記述になつている」と一定の評価をする一方、「形骸化を防ぐため、どんな研修をして、どれだけレベルが上がったのかをチェックすることが必要だ」と話した。

再発防止策を回答

2013.1.30
事故
ボート

豊橋市、遺族の質問状に

浜松市の浜名湖で二表した。

○一〇年六月に野外活動中のボートが転覆し、豊橋市章南中学一年の西野花菜さん(当時12)が亡くなった事故で、父親の友章さん(55)は二十九日、佐原光一市長に提出していた質問状の回答を公

求めていた。

市は、校長や教頭などの管理職にリスクマネジメント研修を義務づけたり、初任者研修に野外活動の現地宿泊実習を盛り込んだりして安全意識を高めると回答。市教育委員会が各学校の行事ごとの安全マニュアルを指導することも説明した。

(中山梓)

友章さんは「以前よりは踏み込んだ内容になつた」と評価しながらも、「二度と事故を起こさないために、もっと具体的に考えてほしい」と話した。